

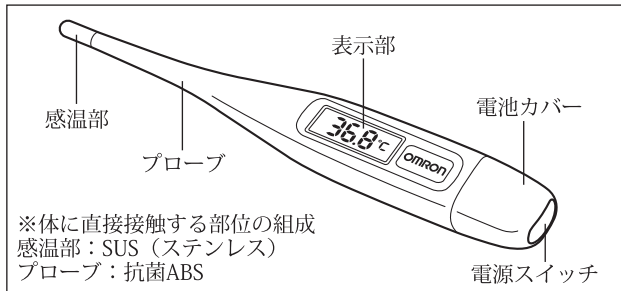
オムロン電子体温計 MC-141W-HP

【禁忌・禁止】

- (電子体温計を適正にご使用いただくための注意事項です。)
- ・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の管理下でご使用ください。
 - ※[自己診断は、病気が悪化する原因になります。]
 - ・人の体温測定以外に使用しないでください。
 - ※[動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。]

【形状、構造及び原理等】

※1. 形状



※2. 構造

標準付属品

- 収納ケース 1 個
- お試し用電池 (アルカリマンガンボタン電池 LR41) 1 個
- 取扱説明書 (品質保証書付き) 1 部

※3. 動作原理

- (1) 本機はサーミスタの抵抗値が温度により変化するという特性を応用した電子体温計です。
- (2) まず基準抵抗で構成された発振回路により充放電発振をおこない、あらかじめ設定された充放電回数までの時間を求めます。
- (3) 次にサーミスタで構成された発振回路により充放電発振をおこない、(2) で求めた時間における充放電回数をカウントします。
- (4) このカウント数を、あらかじめ設定された計算式により温度に変換し表示します。

4. 本体寸法及び重量

- 外形寸法 : 18.4 (幅) × 130.0 (長さ) × 11.3 (厚さ) mm
- 質量 : 約 11g (電池含む)

5. 電気的定格

- 電源 : アルカリマンガンボタン電池 LR41 (DC1.5V)
- 電撃保護 : 内部電源機器 B 形装着部
- 消費電力 : 0.1mW

※6. 性能及び安全性に関する規格等

- (1) 最高温度保持機能 : 実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
- (2) デジタル表示 : 実測した体温をデジタル表示する
- (3) 最大許容誤差 : 一般用 $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ ($32^{\circ}\text{C} \sim 42^{\circ}\text{C}$)
※標準室温 23°C にて、恒温水槽で実測測定した場合
- (4) 電源電圧 : JIS T 1140 : 2014 に適合
- (5) 応答特性・応答時間 : JIS T 1140 : 2014 に適合
- (6) 防 浸 : JIS T 1140 : 2014 に適合
- (7) 測温範囲 : 一般用 $32.0 \sim 42.0^{\circ}\text{C}$
- (8) 最小表示単位 : 一般用 0.1°C
- (9) 測定範囲外告知 : 32°C 未満のとき「L」を表示、 42°C を超えるとき「H」を表示
- (10) 感温部 : サーミスタ
- (11) 測定方式 : 実測 (ピークホールド方式)
- (12) 体温表示 : デジタル表示 3 桁 $+^{\circ}\text{C}$ 表示、 0.1°C 毎
- (13) ブザー : 電子ブザー (約 3 秒間)
- (14) 使用環境周囲温度 : $+10 \sim +40^{\circ}\text{C}$ 相対湿度 : $30 \sim 85\% \text{RH}$

※※

※【使用目的又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。体温計の感温部をわき (又は舌下) に接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。わき・口中用。

※【使用方法等】

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- (2) 「℃」が点滅したら感温部をわき (又は舌下) に挿入し、密着させます。10 分間測定してください。(舌下の場合は 5 分間)

- (3) 温度上昇がほとんどなくなるとブザー音が鳴り、「℃」の点滅がとまります。
- (4) お知らせブザーを目安として見る場合は、わき (又は舌下) から取り出します。より正確に測るには継続して測定してください。
- (5) 電源スイッチを押して電源を切ります。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

- (1) 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また大幅に動かさないでください。
- (2) 電池の電圧が低下すると電池マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- (3) 運動や入浴後、30 分以上あけてから検温してください。
- (4) 飲食後、30 分以上あけてから検温してください。
- (5) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30 分以上あけてから検温してください。
- (6) わきの下が汗ばんでいるときはわきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (7) 本体は水で洗えますが、激しく水をかけたり、長時間水につけたままにしないでください。
- (8) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- (9) 本体を噛まないでください。
- (10) 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
- (11) 周囲温度は $10 \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲で使用してください。

※【保管方法及び有効期間等】

※1. 保管方法

- 次のような環境に保管してください。
- 保管環境周囲温度 : $-20 \sim +60^{\circ}\text{C}$
- 相対湿度 : $30 \sim 95\% \text{RH}$

次のようなところに保管しないでください。

- (1) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- (2) 傾斜、振動、重圧、衝撃 (運搬時を含む) のあるところ。
- (3) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

2. 耐用期間

※標準的な使用期間 : 5 年 [自己認証 (当社データ) による]

【保守・点検に係る事項】

- (1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体は水で洗えますが、激しく水をかけたり、長時間水につけたままにしないでください。
- (5) 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (6) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取るか、または軽く水洗いした後、やわらかい布で拭き取ってください。
- (7) 下記のことを守ってください。故障の原因になります。
・汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
・本体内部に、水などが入らないように注意してください。
・超音波洗浄をしないでください。
- (8) 感染防止のため、定期的に消毒をしてください。ただし、ガス消毒器などによる滅菌、消毒はしないでください。
- (9) 消毒するときは消毒用アルコールをしみ込ませた綿で拭き取ってください。クレゾールなどは使用しないでください。
- (10) 必要時間以上、消毒液につけないでください。必要な時間については消毒液の添付文書をご参照ください。
- (11) 熱湯消毒をしないでください。
- (12) 体温計は収納ケースに入れて保管してください。
- (13) 下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
・水のかかる所。
・高温多湿の所、直射日光が当たる所、暖房器具のそば、ホコリの多い所、塩分などを含んだ空気の影響を受ける所。
・傾斜、振動、衝撃のある所。
・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する所。

※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : オムロンヘルスケア株式会社
電話 : 0120-30-6606
(オムロン お客様サービスセンター)